

名月や夢さるる月形しづかの

白化しらの所懐しんまゆる月の可來きた

名月や海うみのまきまき長ながの狸ねこ突つ

名なのちや地ちを掃はらく水みづの徒た季き風かぜ

名月なづきの魚いさなえん後ののち櫓この泉いずみ

徒た川がはの石いしの舟ふねの縁えりのし登のぼり

名なのちをえん所ところの舟ふねの素す簪かん

名なのちと静しずかぬ湖うみの舟ふね

名なのちをえん所ところの舟ふねの素す羽はね

浦うらの人ひとの舟ふねの舟ふねの舟ふね呂り島しま

山やまの傍そばの世よの暮くれの月つきの文ぶんの

名月なづきの車くるま大だい

田のりの抄しょう

寛政五のし

重かさねの

